

まちのトピックス

団体からの寄附

公益社団法人筑紫法人会から図書などを寄贈

公益社団法人筑紫法人会からの寄贈品贈呈式が11月24日(水)、行われました。同会では毎年地域社会貢献活動として、中学校への図書寄贈と地域福祉に寄与している団体に対してチャリティーゴルフ大会の益金による物品寄贈が行われています。

本年は、本市の4中学校へ159冊の図書と、「NPO法人子育てサポートぽぴんず」と「太宰府子ども劇場」の2団体へ活動のための物品が寄贈されました。



左から筑紫法人会永田厳悟理事、寺崎盛行常任理事、有吉重幸副会長、NPO法人子育てサポートぽぴんず藤本史子代表、太宰府子ども劇場小川則子事務局次長、中学校校長会代表小宮雅弘校長、楠田市長、清水副市長、樋田教育長

市民表彰

筑紫地区少年愛護連盟表彰

11月19日、春日市ふれあい文化センターで筑紫地区少年愛護連盟表彰式が開催されました。本市から以下の人が表彰されました。



拾得物届け

阪本 有悟 (水城小学校2年)

高齢者への介助

松本 蒼太 (水城小学校3年)

飯川 悠加 (学業院中学校3年)

ほか1人

高齢者への援助

和田 徠夢 (太宰府中学校1年)

森田 ゆら (学業院中学校3年)

動物保護

足立 留衣 (福岡農業高等学校1年)

米村 咲希 (福岡農業高等学校1年)

地域貢献

大宰府政庁跡を清掃

大宰府政庁跡周辺の清掃活動が、太宰府市産業推進保友会(会長:宮原康則さん)により11月20日(土)、行われました。同会は、市内の土木・建築・造園・管工事・コンサルタントなどの事業者が結集し、災害復旧や地域貢献活動をより大きな力で行えるようにという思いから、平成30年に設立されました。

当日はボランティアとして約60人が集まり、草刈りや濠の清掃などを行いました。慣れた様子で機械を操作し、本市の象徴でもある大宰府政庁跡がみるみるきれいになっていきました。



清掃活動の様子

史跡地の保存・活用

古代大宰府を一望する巨大ジオラマが公開されました

古代大宰府の街並みを一望する巨大ジオラマが完成し、11月から大宰府展示館で公開されています。

制作者は広島県在住の森野晴洋さん。大学時代を福岡で過ごす中で太宰府の歴史や史跡に関心を寄せられ、古代大宰府の当時の様子が一目でわかるジオラマがあれば、訪れる人により関心を持ってもらえるのではと、古都大宰府保存協会に相談し、約2年をかけてボランティアで制作されました。

ジオラマのスケールは750分の1。再現された「大宰府条坊」はおよそ2km四方の広さの碁盤目をもつ古代の街で、このうち御笠川より南側、東西6坊ずつの範囲が一望できます。当時の人々が活動する場面も再現するなど、大宰府展示館学芸員と何度もやりとりし、細部にまでこだわった作品となっています。

大宰府跡・水城跡の史跡指定100年の節目の年に、最新研究をもとに完成したジオラマです。ぜひご覧ください。



公開されたジオラマ